発育測定の後に、傷の手当てについて学習しました。
擦り傷の場合はどうしたらよいかを考えました。
青いタフロープは水道です。
怪我した人の役より、なぜか水道役が人気でした。
子どもたちは、まず傷口を水で洗ってきれいにすることを知っていて、上手に演じました。
次は、血の働きについて学習しました。
低学年にはちょっと難しい内容ですが、２年生の子どもたちはよくお話を聞いていました。
そして、「血小板」「白血球」などの言葉も覚えてしまいました。
特に「白血球」が気に入ったようで「はっけっきゅう」「はっけっきゅう」と不思議なイントネーションで連呼していました。（笑）